

# ＜小学校社会部会＞

## 研究主題

「調べて考え、表現する力を育成する、個に応じた指導と評価の研究開発」

## 研究の概要

学習指導要領に示された基礎・基本＝基準性の確実な定着を図る個に応じた指導と評価の工夫・改善及び発展的・補足的な学習の指導について、具体的な研究開発を行った。個に応じた指導と評価の研究開発を通じて、すべての児童に基礎・基本の確実な定着を図る研究である。

### I 研究の目的

社会科の目標は、社会的事象について調べて考え、表現する能力や態度を統一的に育成することによって、公民的資質の基礎をはぐくむことにある。

学習指導要領の全面実施2年目の平成15年度にはその一部改正により、指導方法や指導体制の工夫・改善を通じて個に応じた指導の一層の充実を図り、すべての児童に目標を実現することの重要性が改めて示された。

しかし、社会科の学習指導の一部においては、調べることや体験のみに終始した学習指導が見られるなど、迷いや不安があると考えられる。

以上のような状況を踏まえ、本部会は学習指導要領に示された基礎・基本を明らかにし、その確実な定着のための個に応じた指導と評価の方法を工夫・改善するとともに、目標の実現状況に即した発展的・補足的な学習の指導の在り方について、具体的な道筋を明らかにする研究開発を行った。

### II 研究の方法

研究主題に迫るため、次のように仮説を立てた。

「学習指導要領の基準性を踏まえ個に応じた指導と評価の充実を図り、調べて考え、表現する力を育成すれば、すべての児童に基礎・基本の確実な定着が可能となるであろう。」

そして、授業を通して仮説を検証し、成果と課題を明らかにした。

### III 研究の内容

#### 1 基礎・基本の明確化—小単元で育成する「調べて考え、表現する力」の明確化

学習指導要領の分析を行い、小単元で「何について調べ、どのように考え、どう表現するのか」を明確化した。また、小単元の構造図を作成することによって、基礎・基本にかかわる学習内容を整理した。

#### 2 個に応じた指導と評価の充実—指導と評価の方法の具体化

すべての児童に「おおむね満足できる状況」を実現するための、個に応じた具体的な指導と評価の方法を工夫・改善した。事前のレディネスチェックや座席表型の評価用資料、形成的評価が可能な学習シートなどを作成し活用した。

#### 3 発展的・補足的な学習の指導—個の学習状況を踏まえた指導と評価

一人一人の学習状況を的確に把握した上での発展的・補足的な学習の指導や評価の在り方について、研究開発した。調べ方や知識を補うためのヒントカードの作成や、調べたことを全体で交流して一人一人の考えを深め広げる話し合いの工夫などを行った。

## 【基礎基本の明確化を重視した実践事例・1】

### 1 小单元名 第6学年「徳川家光と江戸幕府」 内容（1）一才

### 2 小单元の目標

「大名行列」「キリスト教政策」「鎖国」について調べ、徳川家光の政策の果たした役割について考え、身分制度が確立し、江戸幕府による政治が安定したことが分かる。

### 3 小单元の評価規準

社会的事象への関心 ・意欲・態度	・徳川家光に興味をもって、江戸幕府の始まりや徳川家光の政治について調べ、それまでの時代との違いについて比べたり、いろいろな立場からとらえたりしようとする。
社会的な思考・判断	・大名行列や身分制度、鎖国やキリスト教の禁止について調べ、それが果たした役割や徳川家光の働きについて考える。
観察・資料活用の 技能・表現	・大名行列や鎖国、キリスト教の禁止について、年表や文章などの基礎的資料をもとにしたり、VTR・コンピュータ等の視聴覚教材を効果的に活用したりして調べることができる。 ・資料を基に自分の課題について調べ、分かったことや自分の考えを、学習シート「KAWARABAN」にまとめ表現することができる。
社会的事象についての 知識・理解	・徳川家光の政治を調べ、参勤交代が制度化されたことや武家諸法度などによって大名統制の仕組みが整えられたことが分かる。 ・鎖国やキリスト教の禁止、大名統制について調べ、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことが分かる。

### 4 小单元における基礎・基本について

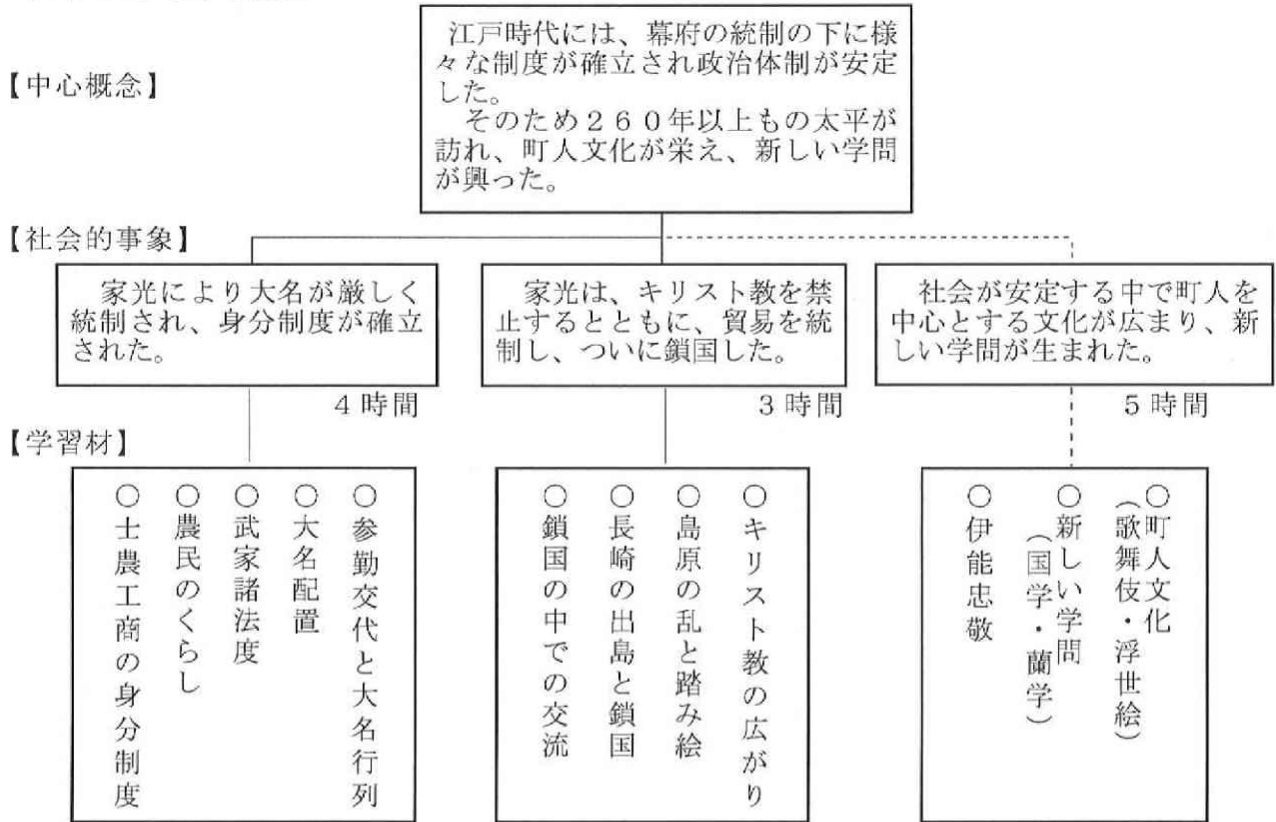
#### （1）学習指導要領の内容から

調 べ る こ と	社会的 事象	政 治	※文化・学問
		「大名行列」 「参勤交代の制度化」 「キリスト教の禁止」「鎖国」	歌舞伎か浮世絵 ----- 国学か蘭学
人 物	徳川家光	近松門左衛門か歌川広重 ----- 本居宣長か杉田玄白・伊能忠敬	
		「参勤交代の制度化」 「キリスト教の禁止」 「鎖国」 などの政策により、身分制度を 確立し幕藩体制を整えた。	歌舞伎や浮世絵などの町人の文化が栄えた こと。 ----- 国学や蘭学などの新しい学問が起こった こと。

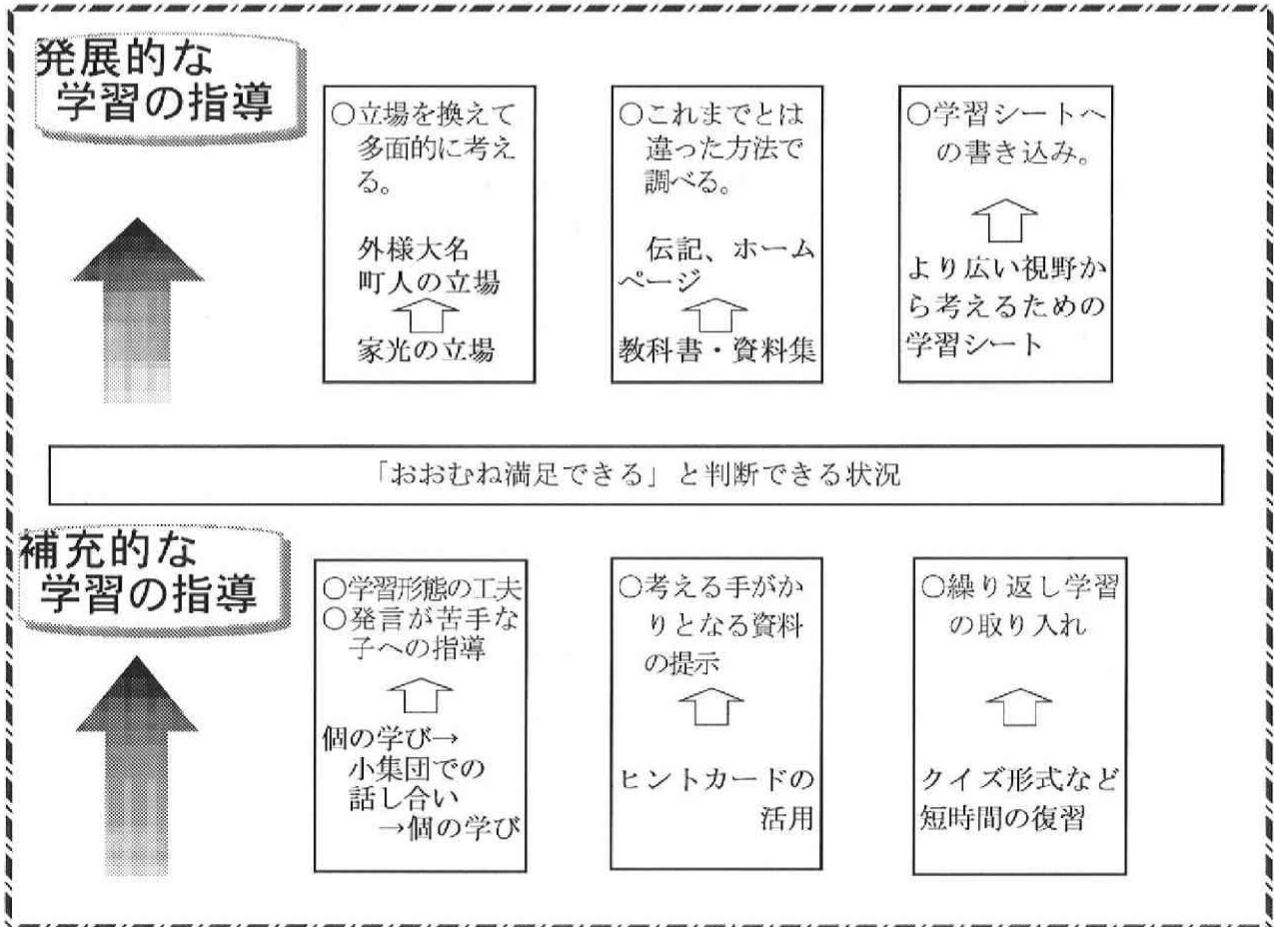
※本小单元では、幕藩体制が確立したことを取り扱った。

なお、文化・学問については次の小单元とした。

(2) 小単元の構造図



5 本小単元における発展的・補足的な学習の指導

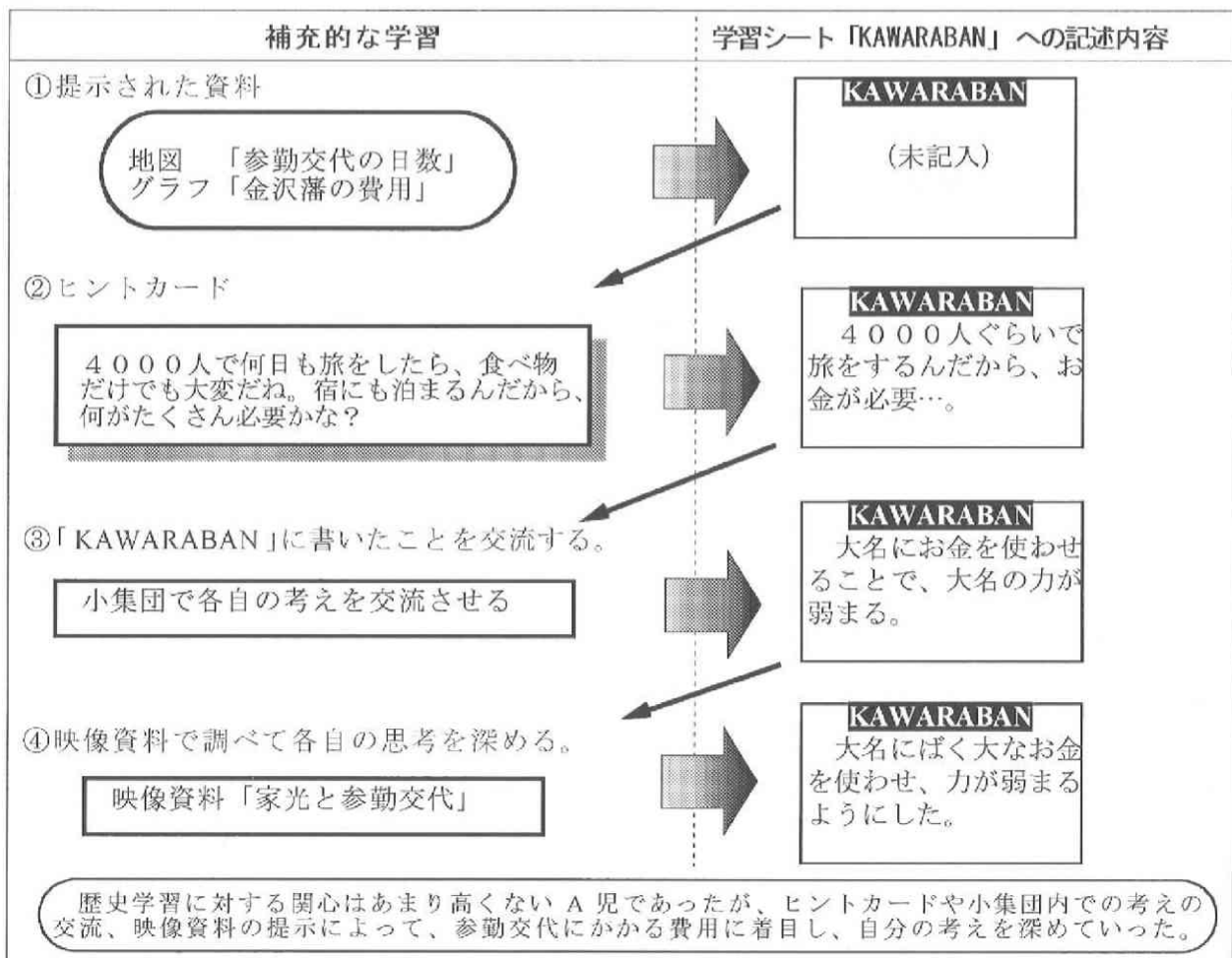


## 6 指導計画（7時間）

時間	◎ 学 習 活 動	○発展的な学習指導・■ 補充的
①	◎江戸幕府の力の大きさに気付くとともに、家光の政策について関心をもつ。	○謁見する大名の立場で気持ちを考える。 ■ 診断的評価を基に机間指導による声かけ
②	◎年表や伝記を手がかりにして記者会議を開き、学習問題を立てる。	■ 記者会議での交流の実施 〈個の学び→小集団の思考→個の学び〉
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">家光はどのようにして全国の大名を支配していったのだろう</div>		
③ ⑥	◎参勤交代・キリスト教政策・鎖国・身分制度などについて調べ、その意味や役割について考える。 ◎考えたことを「KAWARABAN」にまとめる。	○他の立場から考える視点を設定して調べ、さらに多面的に考える。 ■ ヒントカードの活用 ■ 調べたことや考えたことの交流 〈個の学び→小集団の思考→個の学び〉
⑦	◎調べたことをもとに「ニュース特集・家光の政治」に自分の考えをまとめる。	■ 記者会議での交流の実施。 〈個の学び→小集団の思考→個の学び〉

## 7 補充的な学習の指導で変容したA児の姿【本時3 / 7】

家光が参勤交代を制度化したねらいについて考える場面



【個に応じた指導と評価を重視した実践事例・2】

1 小単元名 第3学年「わたしたちの暮らしと商店の仕事」 内容(2)ーア・イ

2 小単元の目標

芝浦の地域では、人々が販売に関する仕事をしていて、自分たちの生活を支えていることが分かる。  
芝浦の地域の販売活動の様子について、観察・調査したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域とのかかわり、仕事に携わっている人々の工夫を具体的に考える。

3 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	・芝浦の地域における販売の仕事に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 ・芝浦の地域で働く人々の仕事に関心を深めようとしている。
社会的な 思考・判断	・芝浦の地域における販売の仕事に問題意識をもち、学習の見通しをもって追究活動を行っている。 ・調べたことに基づいて販売の工夫について考え、自分の意見をもっている。
観察・資料活用の 技能・表現	・販売の仕事と自分たちの生活とのかかわり、他地域とのつながりなどを観察や見学を通して調べることができる。 ・取材、調査した過程や、見学で分かったことなどを分かりやすく表現することができる。
社会的事象について の知識・理解	・芝浦の地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることが分かる。 ・芝浦の地域における販売の工夫が分かる。

4 前単元までの評価と本小単元において育てたい力

1 ○△△△ 店の見学を行って、見付けた事実をまとめさせ、作品作りに取り組みさせたい。	2 ○○○○ 販売側の工夫が消費者側のニーズに対応していることを考えさせたい。	3 ○○◎○ 調べて分かったことや考えてまとめた作品を学級全体に広め、自信をつけさせたい。	4 ○○○○ 販売側の工夫について、調べたことを分かりやすくまとめるようにさせたい。	5 ○△○○ 販売側の工夫を調べるために、何を見学するのか、視点をもちようさせたい。	6 ○○○○ 見学してきたことを、自分の言葉でまとめるように作品づくりに取り組ませたい。
7 △△△○ 課題をつかむ段階で、何を調べるのか、調べることをはっきりとつかませたい。	8 △△△○ 学習への関心を高め、何を調べるのか、視点をもちさせて取り組ませたい。	9 ◎◎○○ 販売側の工夫は消費者側のニーズと結び付いていることを考えさせたい。	10 ○○○○ 調べて分かったことを整理して、販売側の工夫について考えさせたい。	11 ○◎○○ 販売側の工夫について調べて考えたことを、分かりやすく表現させたい。	12 ◎○○○ 調べたことや気付いたことを認め、調べ方やまとめ方に自信をもたせたい。
13 ○△○○ 何を調べるのか、視点をもちはっきりとまとめて学習に取り組ませたい。	14 ◎○○○ 販売側の工夫は消費者のニーズと結び付いていることを作品の中に表現させたい。	15 ○△△○ 課題に対して、どのように調べるのか、じっくりと考えて見通しをもたせたい。	16 ○△○○ 何を調べるのか、課題をはっきりとまとめ、調べた事実をきちんとまとめさせたい。	凡例 番号 関心・思考・技能・知識 A→◎ B→○ C→△ 記述→本小単元において育てたい力	

### 発展的な学習の指導

小売店とスーパーマーケットを比較させながら見学の視点をもたせる指導  
第8時

小売店やスーパーマーケットの追究を生かして、他の販売に関する店を追究させる指導  
第12時

自分の立場を換えて考えることができる指導  
第13時

C「お店の人は、お客さんがたくさん来るために、品物を見やすく並べていると思うから、そのことを見学したい。ほかにも、お店の人はどんな工夫があるかな」  
↑

C「小売店もスーパーマーケットもお客さんによるこんでもらえるように、同じような工夫をしていることが分かったよ。」  
↑

C「お店では、お客さんがたくさん来るために、品物の並べ方を見やすくしたり、種類をたくさんそろえたりしていたことが分かりました。」  
↑

T「小売店の工夫と似ている点や違う点を調べてみよう!  
「夕方、もう一度見学に行き、昼間の様子と比べて見よう!」

T「芝浦にはコンビニエンスストアが多くあるから、お店の工夫で小売店やスーパーマーケットと比べて調べてみよう!」

T「お客さんが喜ぶお店をつくるとしたら、どんなお店がよいのか、店長になったつもりでお店の宣伝ポスターを作ってみよう!」

「おおむね満足できる」と判断できる状況

### 補足的な学習の指導

興味・関心を高めて学習に向き合わせる指導  
第2時

見学の視点をもたせるための指導  
第5時

調べたことを表現させるための指導  
第13時

T「どんなお店で買い物をしたことがあるかな。  
「ペットボトルの並び方の写真を見ると、どんな並び方をしているかな。」  
↑

T「この写真を見てごらん。出入口には何が置いてあるかな。  
「分かったことは、言葉や絵でかいてみよう!」  
↑

T「まとめ方に、パンフレット・ポスター・キャッチフレーズとあるけれど、自分にとっていちばんやりやすい方法を選んでみよう。」  
↑

C「買い物調べのやり方がよく分からないから、毎日続けられるかな…  
「写真の見方が分からないから、何を考えればよいのかも分からないな…」

C「お店の見学で何を見学してくればよいのか、分からない…  
「見学する時、どうやって調べればよいのか分からないな…」

C「見学したことをどのようにまとめればよいのか、分からない…  
「発表する時に分かりやすくまとめたいのだけど、どうすればよいのかな…」

## 6 学習の流れ (15時間)

①自分の家では、どのような店で、どんな買い物をしているのか話し合う。

②買い物調べの計画を立て、自分の家の買い物調べを行う。

③買い物調べの結果を話し合い、消費者側の願いについて話し合う。

④販売側がどのような工夫を行っているのか、学習問題を設定し、個の課題をつか

**学習問題**  
お客さんに喜んでもらえるために、お店の人はどのような工夫をしているのだろう。

⑤地域の食料品店へ見学に行く計画を立てる。

⑥地域の食料品店へ見学に行き、販売する側の工夫や努力を調べる。

⑦地域の食料品店を見学して分かったことを整理して、販売側の工夫について考え

⑧スーパーマーケットの見学方法を考え、計画を立てる。

⑨地域のスーパーマーケットへ見学に行き、販売する側の工夫や努力を調べる。

⑩地域のスーパーマーケットを見学して分かったことを整理し、販売側の工夫について考え

⑪⑫地域にある自分の調べたい店を決めて、見学を行う。

⑬⑭⑮地域の店について、調べたことを作品にまとめ、発表会を開く。

### 補足的な学習の指導が必要なM児の学びの姿

②買い物調べのやり方がよくわからないから、毎日続けられるかな…。

#### M児に対する補足的な学習の指導

学習意欲が高まるように、個別に買い物調べのやり方について指導し、学習状況を把握した。

③買う人の願いとはどんなことかな…。

買い物調べの結果から、家の人が買い物をするとときに気を付けていることを想起させた。

④何を調べればよいのか、分からないな…。

写真を使ったヒントカードを提示し、見つけられることはどんなことかを考えさせた。

#### M児の設定した課題

- 品物はお店の中にあるのか。
- 安売りはどのようにしているのか。

見学の計画を一緒に立てて、見学する視点をもたせた。

#### M児の学習シート (⑥⑦時)

見学してきた事実を整理させて、店の工夫についてグループで話し合させた。販売側の工夫を考えさせるために、定型の学習シートをつくり、事実から自分の考えを導くようにさせた。

#### 補足的な学習の指導で変容したM児の姿

- ②毎日の学習状況の確認によって、継続して買い物調べを行うことができた。買い物調べのまとめでは、買い物をした店を学級マップにシールを張ることができた。
- ③「新鮮」「安い」などのキーワードに話し合いの中で気付くことができていた。
- ④写真をヒントカードとして提示したことで、いくつかの課題をもつことができた。
- ⑥⑦見学してわかったことを整理させたことで、グループの話し合いでは「お客さんが喜ぶ」という視点で意見を発表する。小売店の販売の工夫は「お客さんが安心して買えるように」という考えを導くことができた。

【発展的・補足的な学習の指導を重視した実践事例・3】

1 小単元名 第5学年 「くらしを支える情報」 内容(3) —ア・イ

2 小単元の目標

情報を伝える仕事に携わる人々の工夫・努力や国民生活とのかかわりをとらえることができる。

身の回りには様々な情報があり、私たちの生活場面で役立てられていることに気付くとともに、情報を主体的に収集・選択して活用したり発信したりすることの大切さについて考えることができる。

3 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の通信などの産業に関心を持ち、仕事に携わる人々の工夫・努力、国民生活とのかかわりについて話し合おうとする。</li> <li>情報の活用について自分たちの生活を見直そうとする。</li> </ul>
社会的な思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を伝える仕事に携わる人々の工夫・努力や国民とのかかわりを考える。</li> <li>情報を主体的に収集・選択して活用したり、発信したりすることの大切さについて考える。</li> </ul>
観察・資料活用の 技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信などの産業に関する写真や図、文章などの基礎的資料を活用して調べることができる。</li> <li>情報機器を適切に活用することができる。</li> </ul>
社会的事象について の知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りにはさまざまな情報があり、それがいろいろな生活場面で役立てられていることが分かる</li> <li>通信などの仕事に携わる人々の工夫・努力が分かる。</li> </ul>

4 指導計画

時間	◎学習活動	○発展的な学習の指導 ■補足的
①	◎コンビニエンスストアのレシートから、情報が販売に役立てられていることに気付く。	○消費者・販売者の立場で情報活用について考える。 ■天気予報のVTRを視聴する。
②～③	◎新聞のテレビ欄を調べ、私たちの生活の中には多くの情報があることに気付く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">                     ニュース番組を速く正確に伝える工夫を調べよう。                 </div> ◎放送局がどのように情報を発信しているのかについて調べる計画を立てる。	○視聴者側だけでなく、放送局側の立場で考える。 ■ヒントカードを活用する。 ○放送局が情報を発信するための、その他の工夫について調べる。 ■小集団で話し合い、意見の交流をする。
④～⑤	◎放送局を見学し、自分の学習問題について調べる。 ◎インターネットや各種パンフレットで調べる。	○見学パンフレット、自分で集めた情報を基に情報交換し、調べる。 ■分からないことや疑問に思ったことを放送局で働く人から直接聞く。
⑥～⑦	◎調べたことを整理し、番組づくりに携わる人々が速く正確に伝えるための工夫や努力について考える。	○放送局以外の情報発信の工夫や努力について考える。 ■ヒントカードを活用する。
⑧～⑨	◎放送局以外の情報メディアについて調べ、その特長について考える。	○情報を発信する側の工夫や努力、利用する側の利点など、両方の立場で考える。 ■ヒントカードを活用する。
⑩	◎誤報や過大報道を基に、情報がもたらす影響について知り、情報を発信する際、大切なことを話し合う。	○同じ出来事についての異なる新聞記事を比較して考える。 ■日常生活で誤った情報により困った経験がなかったか、振り返る。
⑪～⑫	◎情報の果たす役割をまとめ、今後、自分たちがどのように生かしていくことが大切なのかを考える。	○情報化の果たす役割が、私たちの生活に与える影響を考えさせる。 ■キーワードを中心にまとめさせる。



## 5 小單元における発展的・補足的な学習の指導

### 発展的な学習の指導（つかむ）

立場を換えて考えるようにするための指導

C「受信者が、それぞれの目的に合わせて、たくさんの種類の情報の中から選んでいるからだ！」



T「なぜ放送局は、たくさんの種類の情報を発信しているのでしょうか。」

### （調べる）

既習の学習内容にあてはめて考えを広げさせるための指導

C「コンピュータを使って温室の温度調節をしたり、気象情報を生かしたりしていたよ！」



T「農業や工業では、どのように情報を活用しているか、調べてみましょう。」

### （まとめる）

状況に応じて学習したことを生活に生かすための指導

C「速く情報を得るには…、さらによくわしい情報を得るには…、外出しているときは…」



T「大きな事故や災害などが起きたとき、どのようにして情報を得て安全に行動するか、考えてみよう。」

「おおむね満足できる」と判断できる状況

### 補足的な学習の指導（つかむ）

興味・関心を高める、臨場感や緊急性のあるニュース資料

T「この台風のニュースビデオで（繰り返しビデオを見せて…）番組をつくる人が気を付けていることは何でしょうか。」

### （調べる）

調べ方が分かるようにするための指導

○教科書、資料集という基礎的資料を基に、調べる内容を限定し、調べる視点をより明確にする。

### （まとめる）

まとめることができる自分に合う学習シートを児童が選択する

○書き込む枠（欄）や構成が細かく指定されているシート

## 6 発展的・補足的な学習の指導で変容した児童の姿

### 補足的な学習の指導の例 A児（2/12）

ニュース番組がこんなに多いなんて、知らなかった。

#### ヒントカード

「放送局は、どうしてこんなにたくさんのニュース番組を放送しているのかな。」

回数が多いということは、新しい情報を速く伝えるためなんだな。

### 発展的な学習の指導の例 B児（8/12）

放送局では、情報を速く正確に伝えるための工夫が分かった。

#### ヒントカード

「ニュースを伝えるために、そのほかのところでは、どんな工夫や努力をしているのかな。」

新聞をつくるための工夫を、ニュース番組のときと比べて調べてみたい。

## IV 研究の成果と課題

### 1 基礎・基本の明確化について

〈成果〉

- ・小単元の学習指導要領の内容を分析することによって、指導すべき内容（基礎・基本）を明確にすることができた。
- ・上記のことを踏まえ、教材を「中心概念－社会的事象－（社会的事象の意味）－学習材」と構造的に整理し、指導すべき内容を明らかにして指導計画を立てることができた。

〈課題〉

- ・「おおむね満足できる」とした評価規準を、より一層具体化する必要がある。特に、「関心・意欲・態度」「思考・判断」の評価規準の設定に当たっては、更に研究を深めていく余地がある。
- ・児童の学習状況を的確に把握し、個に応じた指導を充実させるには、教師の授業力をさらに高めていく必要がある。

### 2 個に応じた指導と評価について

〈成果〉

- ・アンケート形式によるレディネスチェックの実施により、個に応じた計画的な机間指導や支援の視点が明確になった。
- ・座席表形式の評価計画を立てることにより、児童一人一人に育てたい力を明らかにして、指導に当たることができた。
- ・上記のことにより、個に応じた発展的・補足的な学習の内容を具体的に考えることができた。
- ・形成的評価の実施により、児童の思考と事実認識の状況を把握することができた。
- ・学習シートは一律にせず、個に応じて異なる形式のものを用意することによって、一人一人の表現する力を深めさせることができた。

〈課題〉

- ・座席表を活用するなどして、発展的・補足的な学習の内容を含めた、より平易で妥当性のある指導計画表を作成する必要がある。
- ・日常の授業で使える児童の評価計画を作成したが、さらに研究開発を進め、より使いやすいものに改善していく必要がある。
- ・学習シートによって一斉指導が効率的に進められる反面、思考の方向を制約する可能性もあり、今後も活用法の十分な検討が必要である。

### 3 発展的・補足的な学習の指導について

〈成果〉

- ・発展的・補足的な学習の一つとしてヒントカードを開発することができた。
- ・このヒントカードは、学習内容（例－ここを見てごらん）と学習方法（例－別の調べ方をしてごらん）別に作成したので、児童の学習状況に合わせた指導が充実した。
- ・発展的・補足的な学習では、中学年では調べ方、まとめ方などの学習方法が、高学年では多面的な見方や考え方を育成する指導が有効であることが分かった。
- ・発展的・補足的な学習を、計画的に学習過程の中に位置付けることで、児童の社会科への興味・関心をより一層高めることができた。
- ・補足的な学習では、小集団での話し合いが、自分の考えを補強したり修正したりして自信をもたせることに有効であった。

〈課題〉

- ・ヒントカードの提示の仕方やヒントカードの内容が、児童にとって本当に適切であったか、さらに完成度を高める必要がある。
- ・発展的な学習を求めている児童には、より思考力を高める指導方法や、発展的な学習の内容を教材開発していく必要がある。
- ・補足的な学習について、学習の内容や指導方法、学習形態の面からさらに研究開発を進めていく必要がある。
- ・学年の発達段階を踏まえて、集団で学習を勧めるときの学習方法を研究開発をしていく必要がある。